

●津波防災マップについて

平成 24 年 6 月に北海道から、東北地方太平洋沖地震の発生を踏まえた、太平洋沿岸における津波浸水予測図が新たに公表されました。今回公表された津波浸水予測図は、「発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす最大クラスの津波」が想定されています。その結果を踏まえて、白老町では津波防災マップを作成しました。

●津波防災マップの留意点について

津波防災マップを活用するために、次の点に留意してください。

- ①想定以上の津波が発生する場合があります。
今回の津波浸水想定区域は、現在の科学的根拠に基づき、シミュレーションした結果です。しかし津波は自然現象のため、想定以上の津波が発生する恐れがあります。
- ②地形的特徴により津波が高くなる場合があります。
平野部や谷部など地形的な特徴により津波波高以上の高さまで遡上・浸水する可能性があります。

想定津波波源域

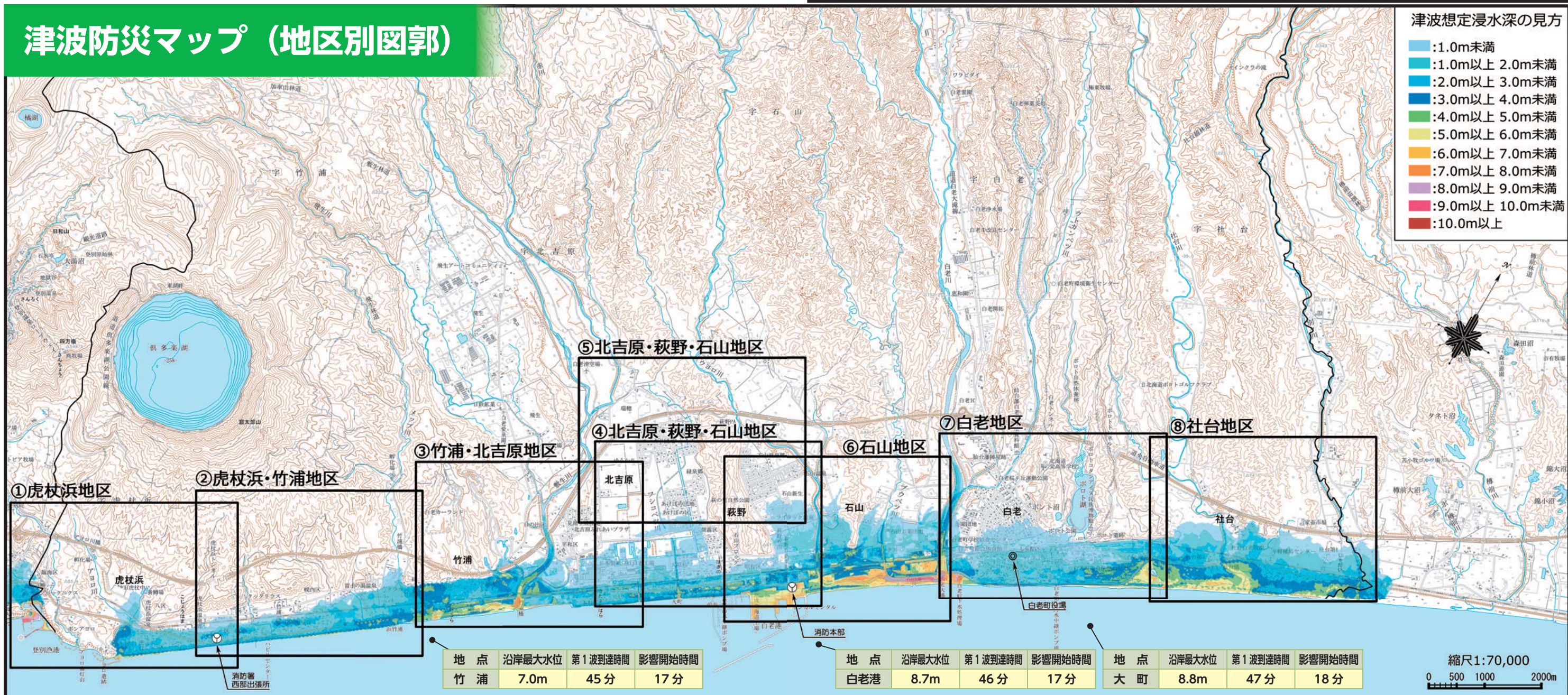
津波波源モデルは、東北地方太平洋沖地震の断層モデルや海溝型地震の特性を考慮し設定され、断層は幅 140km、長さ 420km に設定されています。

用語の説明

- 東京湾平均海面
全国の標高の基準となる海面からの高さを表す場合の基準で陸地の標高 (海拔高度) の基準面。
- 第 1 波到達時間
沖合水深 10m 地点で、地震発生から津波第 1 波のピークが到達するまでの時間。
- 影響開始時間
沖合水深 10m 地点で、地震発生から津波による水位変動 (初期水位 ± 20cm) が生じるまでの時間。

※津波第 1 波の最大水位が津波全体の最大水位とは限りません。

津波防災マップ (地区別図郭)



【この地図は北海道地図 (株) の GISMAP を使用しています。】
【この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 2 万 5 千分の 1 地形図を使用しました。】
(承認番号 平 24 情使、第 244-GISMAP30981 号)